

IIJ、国際/国内回線の大幅増強完了 - 日米間620Mbps、東京-大阪300Mbpsへ -

1999年6月16日

株式会社インターネットイニシアティブ(以下IIJ、本社: 東京都千代田区、代表取締役社長: 鈴木 幸一)は、6月16日、日米間の国際バックボーン回線を465Mbpsから620Mbpsへ、また、東京-大阪間を150Mbpsから300Mbps(150Mbps×2)へ増強いたしました。

今回の東京-大阪間300Mbpsへの増速は、関連会社の株式会社クロスウェイコミュニケーションズ(以下CWC、本社: 東京都千代田区、代表取締役社長: 鈴木 幸一)が回線調達先となりました。引き続き、IIJでは、CWCの回線を利用し、国内バックボーンを増強を行っていく予定です。

また、日米間620Mbpsへの増強は、東京-パロアルト (PAIX) 間を155Mbpsから310Mbps (155Mbps+155Mbps) に増速することにより、実現いたしました。急激に増大するインターネット・トラフィックを支えるために、IIJでは1994年から約5年間で、約3200倍を超える規模の対米回線増強を行ってきました。また、世界最速を誇るIIJの日米回線は、アジア諸国を高速回線で接続するインターネットバックボーンネットワーク「A-Bone」(*)とダイレクトに接続されています。今回の増強により、日本のみならず、アジア太平洋地域と米国間のインターネット通信を支える基幹インフラとしての役割も強化されました。

(*) IIJの関連会社、アジア・インターネット・ホールディング (AIH、本社: 東京都千代田区、代表取締役社長: 鈴木 幸一)が運営

IIJの保有する日米間国際バックボーン回線 (6月16日現在)

日本側	米国側	回線帯域
東京	San Jose(MAE-WEST)	155Mbps
	Palo Alto(PAIX)	310Mbps (155Mbps+155Mbps)(*)
大阪	IIJ NY NOC	155Mbps
合計		620Mbps

(*) : 今回増強した回線

以上
